

演奏会記録の公開にあたって

1926年(大正15年)に設立された新交響楽団に起源をもつNHK交響楽団は、東京での定期公演を活動の中心に、全国各地や海外での公演、放送やレコーディングなど、90年近くにわたって戦中期も絶えることなく活発に活動を行ってきました。その歴史は、日本クラシック音楽界の歩みと軌を一にしているといっても過言ではありません。

N響は周年事業などの折に触れて演奏会記録を刊行してまいりました。しかし2002年6月発刊の『フィルハーモニー Special Issue』を最後に途絶えており、各方面から「再び刊行して欲しい」との声を頂いておりました。そこで2013年より演奏会記録の調査を本格的に再開しました。

その中でこれまでの記録に間違いや未掲載の公演があることがわかりました。また放送局の支援を受けのオーケストラとして、N響は数多くのレコーディングや公開収録を行ってきましたが、これらについてはこれまでの演奏会記録ではほとんど反映されていない状況でした。さらに今までの記録はすべて欧文で刊行されており、利用しやすいものとは言い難いものでした。

これらの実情を踏まえ、今回の調査・編纂では

1. 日本語で読める演奏記録に作り変える。
2. 改めて資料調査を行い、これまでの記録内容が妥当なものかできる限り検証し、必要に応じて情報の加除を行う。
3. これまでほとんど演奏会記録に収録されてこなかった「放送用公開収録」について調査を行い、確認が取れたものについては新たに収録する。
4. N響が行った作品初演に関する情報を充実させる。
5. 人名、作品名については同一のものでありながら、これまで微妙な違いが生じているケースが多くあった。同一のものと認められる場合は表記を揃える。

などを基本方針に作業を進めてまいりました。

この調査は現在も継続中で、将来的にはホームページで検索可能なデータベース化を目指しますが、全面的な完成はさらに時間がかかることが見込まれます。そこで現時点での調査の中間的なまとめとして、このたびPDFファイルで発表させていただく運びとなりました。

公益財団法人 NHK交響楽団

調査・編纂協力：成田麗奈、山本明尚、佐野旭司、岡本悠、藤田瞳